

2019年10月1日
学校法人聖路加国際大学
聖路加国際病院

AYA サバイバーシップセンターの開設について

聖路加国際病院（所在地：東京都中央区、院長：福井次矢）では、病気を抱える思春期・若年成人（Adolescent and Young Adult：以下、AYA）世代（15歳以上39歳未満）患者の支援体制として「AYA サバイバーシップセンター」（センター長：山内英子）を設立しました。

AYA 世代は多様なライフイベントが起こるのが特徴です。病気に罹患した年齢に応じた、療養上の悩みを抱くと言われていています。当院では医師、看護師、薬剤師、臨床心理士などの多職種で構成された AYA サポートユニットで、AYA 世代患者の悩みに対応し、療養生活を支援します。

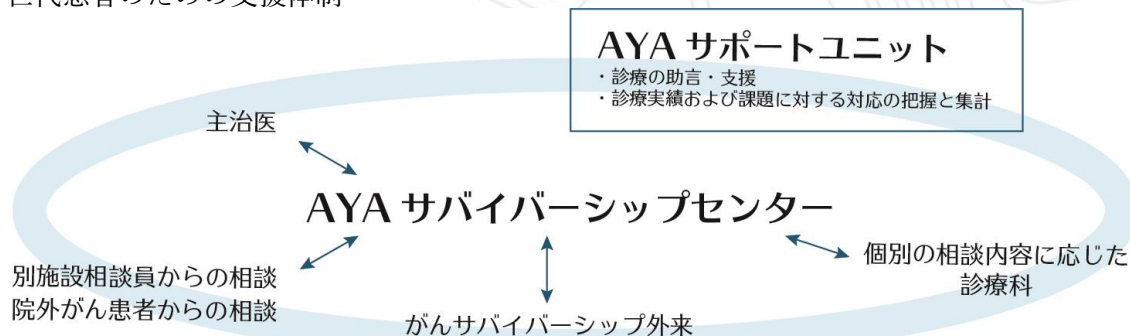
■ 「AYA サバイバーシップセンター」について

AYA サバイバーシップセンターは、AYA 世代の患者が抱える身体的、精神的、社会的な悩みや相談に対し医療者が包括的に関わることで、診断時から治療後にかけてサポートすることを目的とします。AYA 世代のみなさまに積極的に利用していただくことで、患者の自立性を高め、社会生活の維持を支援します。疾病を抱える AYA 世代患者に対し、充実した医療の提供および院内外を問わない相談支援を実践するとともに、疾病を抱える AYA 世代患者の診療や支援に関する普及、啓発活動にも取り組みます。

■ AYA 世代のがん支援

当院は、年間約 150 名の AYA 世代新規がん患者を受け入れ、月間約 200 名の AYA 世代がんサバイバーのフォローを行っています。AYA 世代に発生するがんは、小児期に多い白血病や肉腫などの非上皮がんから、40 歳以上の成人、高齢者に多い上皮がん（乳がん、大腸がん、子宮頸がんなど）が混在するのが特徴です。そのため小児科と成人腫瘍科の連携が大切になります。当院では、がんの専門職が協力し、AYA 世代のがん患者が最適な治療や療養を受けられるよう支援します。

■ AYA 世代患者のための支援体制



【お問い合わせ先】 学校法人聖路加国際大学 広報室
TEL：03-6226-6366 FAX：03-6226-6376 Email：pr@luke.ac.jp